

事例の区分

事業区分	公園整備事業
配慮概要	雨水浸透貯留施設の設置

事業の概要

事業名	「水源の森」(あけぼのふれあい公園)整備
実施場所	東京都三鷹市上連雀5-16-30
事業主体	東京都(河川部分)、三鷹市(公園部分)
実施期間	平成10年度
全体事業費	-
事業規模等	面積 約1,679.06㎡
事業概要	公園に降った雨の浸透及び雨水排水で集まった水を仙川に放流するとともに、一部貯留して地下水涵養させる水循環施設を設置した公園整備を行った。 ・雨水浸透貯留施設：約530m ³

環境配慮の内容

雨水浸透貯留施設の設置

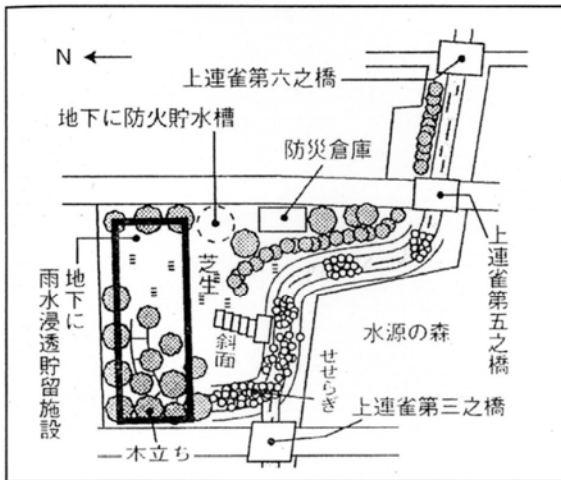
- 公園の地下に約530m³の雨水浸透貯留施設を設置(構造：かご状の高耐圧強度ブロックを透水性シートで包んでいる)。
 - 公園に降った雨や雨水排水(集水区域約1ha)から集まった水を一時貯留し、導水管を通じてせせらぎとして仙川に放流するとともに、一部を地下に浸透させ、地下水涵養を図っている。
- 防災体制の整備
- 防火貯水槽(100m³)や防災井戸、防災倉庫も設置している。
- 河川の親水性の確保
- 貯留水の放流先である仙川は垂直護岸であったが、水辺に近づけるように斜面を整備し、親水性を高めた。

環境配慮の結果

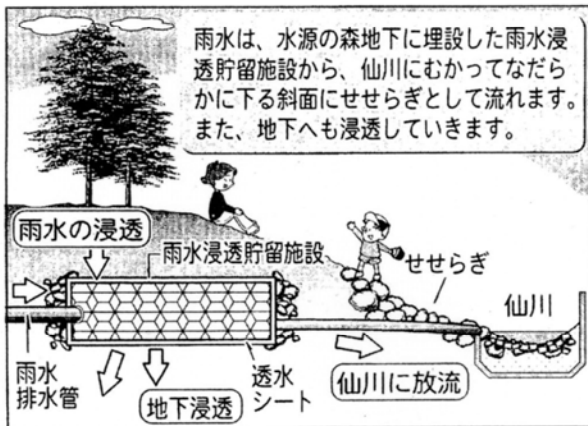
- 都市における新しい水循環のシンボルとして地域住民に親しまれている。

今後の留意事項等

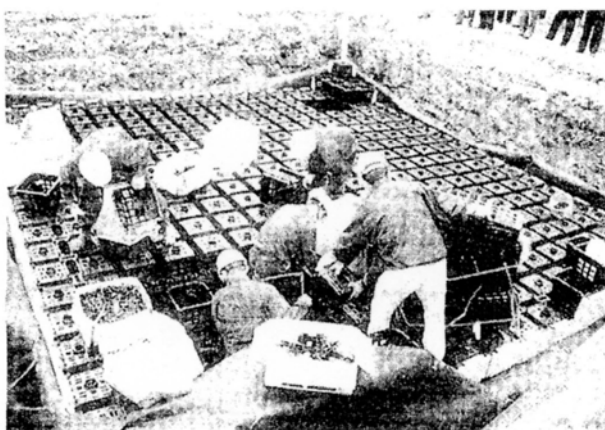
-



【水源の森(あけほのふれあい公園)整備図】
雨水浸透貯留施設，地下防火貯水槽，防災倉庫を整備する。



【水源の森(あけほのふれあい公園)断面図】
地表と配水管からくる雨水を貯留施設にためる。地下に浸透させるとともに仙川へも放流する。



【雨水浸透貯留施設の施工風景】
公園に降った雨や雨水排水から集まった水を一時貯留する雨水浸透貯留施設のかご状ブロックを埋め込んでいる状況。

出典 「広報みたか」三鷹市1998年11月15日